

めぐみ在宅地域緩和ケア研究会



NEWS LETTER

2020.11月 NO. 158

めぐみ在宅クリニック（在宅療養支援診療所）

〒246-0037 神奈川県横浜市瀬谷区橋戸2-4-3

TEL:045-300-6630 FAX:045-300-6631

なぜ時間とエネルギーを注ぐのか？

たった1つの問いだけで、集まった人たちの心が動き、対話が進むことがあります。研修会の講師やシンポジウムの司会などを通して、何かを伝えるだけではなく、自分事として考え、言葉にするために、私は問いを大切にしてきました。

なぜ、いのちの限られた人に、
時間とエネルギーを注ぐのですか？

この問いは、私が考えたものではありません。今から15年以上前に、某大学文学部心理系のOBが集まる研修会で、講師を頼まれたとき、控え室で、他の講師に質問をした大学院生の問いでした。

心理が専門とはいえ、実験心理（パブロフの条件反射など）を専門とする学科でもあり、人の心を数値で測定することが意識にあったのでしょうか。私の後に話をする同大学のOBの講師に、研究フィールドを探しているお願いの中での出来事でした。

「先生、なぜホスピス病棟などで、カウンセリングをされるのですか？どれほど関わったとしても、その人は亡くなってしまうのですよね…？」

その学生さんの発する言葉を聞いて、正直、言葉が出ませんでした。少なくとも人を相手に仕事をしようとする学生さんです。

大切なものは、目に見えないですよ…。と星の王子様の話を紹介しましたが、実験心理をされている学生さんにとっては、最後まで??のマークが頭に浮かんでいたようでした。

あらためて問います。なぜ、私たちは、いのちの限られた人に、時間とエネルギーを注ぐのでしょうか？

これが正しい1つと決めつけずに、一人ひとりが自分の言葉で考え、形にして、対話が生まれる場を提供していきたいと思います。

(小澤竹俊)

今日が人生最後の日だったら

ひよんなことからロンドンブーツ1号2号の田村淳さんのラジオ番組（文化放送）にゲスト出演しました。田村さんは、慶応大学のメディアデザイン研究科の大学院生として「死者との対話」「遺言」「いたこと」などの活動をされています。

番組では、ご自身のお母様がこの8月に他界されたことにふれ、思い出を語っていました。放送の様子は、YouTubeで視聴することができます。



オンライン授業

今年はコロナ禍のため対面での講義が難しい中で、医学部や薬学部の講義をオンラインで実施するようになりました（5つの医学部、1つの薬学部）。おかげで地方への移動時間がなく、診療を継続しながら伝えることができます。

診療実績

	2006- 2019年	2020年 1-7月	8月	9月	10月	2020年 計	総計
訪問回数	81,109	4,726	687	661	704	6,778	87,887
自宅永眠	2,470	100	20	18	21	159	2,629
施設永眠	409	36	4	3	6	49	458
在宅 (自宅+施設)	2,879	136	24	21	27	208	3,087
病院永眠	794	42	4	4	11	61	855